

2007・10・27

更新

病害虫名		薬剤名	ムカゴ適応	使用濃度	使用方法	農薬安全使用基準	
						使用期限 (収穫前日 数)	使用回数
土壌混和	センチュウ類	ネマトリンエース粒剤		(10アール)20Kg	植付前までに土壌全面混和	植付前	1回
	褐色腐敗病	ガスタード微粒剤 (バスマイド微粒剤)	-	(10アール)20~ 30Kg	植付21日前まで土壌混和し、ピ ニール被覆後ガス抜き耕起し植え 付ける	植付21前	1回
種芋消毒	褐色腐敗病	ベンレートT水和剤20		100倍~200倍	10分間種芋浸漬(N肥料の多用を 避け、排水対策を行なう)	植付前	1回
	根腐病	ティーピック水和剤		50倍	約2秒間種芋侵漬(健全種芋を使 い連作うを避ける)	植付前	1回
ベンレートT水和剤20			20倍				
炭そ病	炭そ病	トップジンM水和剤		800倍	発病してからの薬剤散布では防除 しにくいので予防散布を徹底する。 肥料切れや水不足で茎葉が弱ると 多発しやすい(菌が茎葉に付着して 越冬するので、被害茎葉を土中に いれない)	7日	5回
		ジマンガイセン水和剤	-	400倍~600倍		21日	4回
		ダコニール1000		1000倍		30日10	6回
		ラピライト水和剤	-	400倍		14日	4回以内
		ベルコートフロアブル	-	1000倍		7日	5回
	葉渋病	キノドール水和剤40	-	600倍	茎葉が混み合うと発病する。発病 した圃場被害部を除去する(梅雨期 及び秋期の多雨期に多発しやす い)	14日	5回
		ストロビー フロアブル		2000倍		7日	3回
		コサイドDF	-	1000倍		-	-
		トップジンM水和剤		800倍		7日	5回
		フロンサイド水和剤	-	2000倍		14日	4回
		ベルコート水和剤	-	1000倍~2000倍		7日前まで	5回
	アブラムシ類	トレボン乳剤		1000倍	ウイルス感染を防ぐ為には育成初 期(5~6月)の重点防除が大切(圃 場や付近の雑草除去を行い、圃場 の衛生に努める)	14日	3回
		モスピラン水溶剤	-	4000倍		7日	3回
		DDVP乳剤50		1000倍~2000倍		14日前	6回
		ニッソランV乳剤	-	1000倍~1500倍		7日前	2回
		マブリック水和剤20	-	2000倍~4000倍		7日	2回
		アディオオン乳剤	-	2000倍~3000倍		7日	5回
ハダニ類	ニッソランV乳剤	-	1000倍~1500倍	7月中旬~9月上旬頃に2~3回程 度重点防除を行なう。ハダニ類は 薬剤抵抗性が発生しやすいので、 1薬剤1回防除が望ましい	7日前	2回	
	コロマイト乳剤		1000倍		7日	2回	
	ボルテージ乳剤	-	1500倍		前日まで	2回	
ヤマノイモコ ガ	アディオオン乳剤	-	2000倍~3000倍	7月上旬~9月下旬に発生が多く、 虫を確認したら早期に防除。ムカゴ を食害するので注意	7日	5回	
	メラード水和剤		1000倍		14日	2回	
	トレホン乳剤		1000倍		14日	3回	
	マブリック水和剤20	-	2000倍~4000倍		7日	2回	
シロイモゾト ウ	トレボン粉剤DL	-	(10アール)4Kg	葉を食害するので、虫を確認したら 早期防除、卵塊を目安	14日	3回	
ハスモンヨト ウ	トレボン乳剤		1000倍		14日前	3回	
コガネムシ幼虫	カルホス微粒剤F		(10アール)9Kg	成虫飛来最盛期(7~8月)株元土 壌混和	成虫飛来最 盛期	2回	